

# シンポジウム

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は 発表学会等の名称	概 要
1. 「ホスピタリティ学の推進に向けてー諸分野からのアプローチとネットワーク化」	共	1995 年 10 月	日本ホスピタリティ学会第 4 回研究発表大会 シンポジウム (於 東洋大学短期大学)	日本において、1992 年から研究がスタートしたホスピタリティについて、今後の学問の体系化のための課題について討論した。 司会者： 佐々木宏茂 パネラー： 安藤三郎、西岡久雄、服部勝人、水野潤一、 <u>吉原敬典</u>
2. 「経営環境におけるホスピタリティ」	共	1996 年 10 月	日本ホスピタリティ学会第 5 回研究発表大会 シンポジウム (於 亜細亜大学)	経営と人間を見据えたうえで、グローバルな観点からホスピタリティについて研究することの意味や方向性について討論した。 司会者： 横澤利昌 パネラー： 西岡久雄、佐々木宏茂、服部勝人、 <u>吉原敬典</u>
3. 「社会の構造的変化の時代とホスピタリティ」	共	1997 年 10 月	日本ホスピタリティ学会第 6 回研究発表大会 シンポジウム (於 産能短期大学)	指示待ち型人材に代表されるように組織依存の状態に終止符を打つことが競争力を生み出す出発点であるとの共通認識から、自律的な人財への可能性について討論した。 司会者： 西岡久雄 討論者： 佐々木宏茂、服部勝人、米林喜男、 <u>吉原敬典</u>
4. 「人間主役共創型の地域振興を目指して」	共	2002 年 11 月	日本ホスピタリティ・マネジメント学会 第 4 回ホスピタリティ・コンベンション in 長崎・佐世保 (於 長崎国際大学)	日本国内の各地域は、さまざまな問題を抱えながらも地域住民主体の考え方で地域再生へ向けて活動している。ホスピタリティ概念の適用による地域振興のあり方について討論した。 司会者： <u>吉原敬典</u> パネリスト： 安部直樹、飴善晶子、小宮山康朗、網嶋信一

<p>5. 「日本ホスピタリティ・マネジメント学会のこれまでと今後について～ホスピタリティ・マネジメント学の体系化について」</p>	<p>共</p>	<p>2006年7月</p>	<p>日本ホスピタリティ・マネジメント学会 第15回全国大会 (於 目白大学)</p>	<p>1992年にスタートしたホスピタリティに関する研究も。日本ホスピタリティ・マネジメント学会が1999年9月14日に日本学術会議第18期学術研究団体登録され、今日のホスピタリティのウェーブ現象を引き起こした。歴代の学会会長と現在の学会会長による振り返りとともに、今後を展望した。 司会者： <u>吉原敬典</u> パネリスト： 西岡久雄、石井学、服部勝人</p>
<p>6. 「ホスピタリティの本質」</p>	<p>共</p>	<p>2022年11月</p>	<p>ビジネスクリエーター研究会第13回ホスピタリティマネジメント研究会(於 目白大学)</p>	<p>シンポジウムのテーマは「ホスピタリティの本質」。効率性の向上を促進する「サービス価値」と創造性の発揮を促進する「ホスピタリティ価値」の二項両律マネジメントについて焦点化したものである。また、二項両律マネジメントを土台で支える「人間価値」向上のマネジメントとの循環サイクルについて提起したものである。なお、「目白大学経営学部開設20周年記念シンポジウム」(主催：目白大学経営学部・大学院経営学研究科、協賛：ビジネスクリエーター研究会)として開催した。 講演者： 高田将代、三好博之、<u>吉原敬典</u> モデレータ： 朴美玲 パネリスト： 高田将代、三好博之、<u>吉原敬典</u></p>